



広瀬 光一 議員

質問

アグリサイエンスバレー事業について

答弁

地域経済の活性化、交流人口の拡大と定住人口の促進を目指す

広瀬議員の質問動画



議員

アグリサイエンスバレー事業全体の雇用について伺う。

産業振興部長

令和4年度が株式会社ムロオ及び農業法人(有)大地の稼働により約3百人、令和5年度には道の駅、民間集客施設、グッドマンジャパン(株)、(株)たねまき常総の稼働により約1千人、令和6年度以降、圏央道南側の街区及び株式会社フォームシップの稼働により約7百人、合計約2千人の雇用が見込まれる。

議員

道の駅に出荷する事業者の状況やアグリサイエンスバレー事業の周辺、また市内農家への波及効果をどのように見込んでいるのか。

産業振興部長

6月に出荷を希望されている事業者を対象とする説明会を開催する予定で、現在180件の申込みがあり、初日は既に満員である。地域の農家の所得アップになることを期待している。

議員

道の駅へのふるさと納税自販機導入について伺う。

市長公室長

ふるさと納税の自販機は、ゴルフ場やゴルフ練習場に設置し、寄附を受け付ける有効な手段の一つであると認識している。道の駅でも、市外から多くの方が来場されることとが予想され、ふるさと納税自販機を設置することで、当市にふるさと納税をしていただく機会の拡大につながると考えている。議員ご指摘のとおり、当市の道の駅への設置について前向きに検討する。

議員

ネーミングライツの導入及び企業等に就職するリターンやリターンの学生の奨学金に対する補助について伺う。

産業振興部長

都市公園の維持管理経費の軽減を図るため、ネーミングライツ制度の活用を今後検討したい。また、当市では奨学金の補助等は行っていないが、県内でもいくつかの自治体でこうした事業を実施していることから、取り組みの状況や効果等の聞き取りを行い、今後、市の実情に合った施策を講じたい。



柳井 真吾 議員

質問

小中学校における常総市の教員不足の現状について

答弁

学級編制及び定数等の法律に基づいた教員の配置は、きちんと配置できている

柳井議員の質問動画



議員

文部科学省が本年1月に公表した教員不足に関する調査結果では、2021年度の始業日時点で、全国で、本来約83万人の人員が必要であるところ、2千5百人超の不足が生じ、子どもたちの学びに支障が出かねない状況が浮かび上がった。

こうした事態に対し、小学校では教頭先生などの管理職が学級担任を代替したり、中学校や高校では教科担任の不足で一時的に必要な授業が行えなかったりする影響が出た。このような全国的な状況を踏まえ、常総市の教員不足の現状を伺う。

教育長

公立小中学校における学級編制及び定数等の法律に基づいた教員の配置は、現在、常総市ではきちんと配置できている。しかしながら、その定数とは別に、例えば少人数指導であったり、日本語指導が必要な児童が何人につき何人の教員であったり、小学校における専科教員であったりという定数は別の加配といわれる職員が、本

来57人必要などところ、常勤講師が1人、非常勤講師が5人不足している状況である。

議員

常総市では、先ほど定数とあつたが、小学校の担任の先生や中学校の教科担任の不足がないことが分かり、安心した。ご尽力に感謝する。

常総市の子育て教育にかかる予算をもっと増やすべきである。子育て教育にかけるお金は未来の子どもたちへの投資である。今後の子育て教育費予算の増加を提案したい。市長の見解を伺う。

市長

コロナ禍における臨時交付金を活用し、常総市としては子育て世代に的を絞ってこれまでも支援を続けてきた。また、今後の臨時交付金の活用、今後の教育部門の子育て世代への支援、この予算を十分に確保していく上でも、自主財源の増額に努め、子育て世代への支援をしっかりと行っていきたい。

【その他の質問】

★産後ケアについて